

潟東ゆう学館

令和7年度年次報告書

指定管理者 株式会社関越サービス

昨年同様、夏場の猛暑の影響により入館者数は減少し、年間利用者数は51,665人と、評価指数である55,000人には届きませんでした。

昨年より開催している弊社指定管理9施設共催イベント「秋の湯めぐりスタンプラリー」「お風呂大好き選手権」「みんなのお風呂川柳」を継続開催し、新潟市内施設間の回遊促進およびリピート利用の向上に取り組みました。

さらに、今年度の新しい取り組みとして、10月から「ディオライムコンサート」や、12月から「ヤクルトの健康教室」を定期的で開催し、利用者の満足度向上および来館機会の創出に努めました。

一方、運営経費については、冬場の気温低下に伴う水光熱費の高騰や、最低賃金の上昇による人件費の増大により、増加傾向となりました。

そのような状況ではありましたが、令和7年度においては重大な事故や長期休館に至るトラブルもなく、通年で安定した施設運営を継続することができました。

また、入浴設備の修繕や空調設備の運用方法について適宜見直しを行うとともに、体調不良者発生時には迅速な対応を行っております。人的トラブルや突発的な設備不具合についても、発生時を除き営業を継続し、利用者への影響を最小限に抑えております。

今後につきましては、引き続き新規利用者増につながるイベント開催ならびに夏季におけるコミュニティオアシスの活用を推進するとともに、アンケート等を通じて利用者の声を把握し、満足度向上につながる運営に取り組んでまいります。

これらの取組を通じて、地域住民の交流促進および健康増進に寄与するとともに、引き続き指定管理者としての責務を果たし、安全で安心して利用できる施設運営に努めてまいります。